

第七十五回帝國議會 院

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件 委員會會議錄(速記)第八回

會議

昭和十五年三月一日(金曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事宇賀 四郎君 理事矢野庄太郎君
理事鶴 惣市君 理事小串 清一君

原 玉重君 田中 邦治君

駒井 重次君 川副 隆君

横川 重次君 八角 三郎君

木村作次郎君 小野 廉君

小谷 節夫君 前川 正一君

三木 武夫君 小野 謙一君

二月二十九日昭和九年法律第四十五號中改正法律案(貿易調節及通商擁護ニ關スル件)
(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 松田 正一君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 永井 勻君

大藏書記官 前田 克巳君

大藏書記官 秋元 順朝君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

保險院總務局長 佐藤 基君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

職員健康保險特別會計法案(政府提出)

作業會計法中改正法律案(政府提出)

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十三年法律第五十三號中改正法律案

付託議案

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一號)
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第二號)
職員健康保險特別會計法案(政府提出)(第三號)
作業會計法中改正法律案(政府提出)(第四號)
造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)(第五號)
昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局振置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)(第六號)
政府出資特別會計法案(政府提出)(第四六號)
陸軍航空工廠資金特別會計法案(政府提出)(第五五號)
金資金特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五六號)
昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)(第五七號)
昭和九年法律第四十五號中改正法律案(貿易調節及通商擁護ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第五九號)

(印刷局振置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)

昭和九年法律第四十五號中改正法律案

(貿易調節及通商擁護ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス——松田政府委員

○松田政府委員 此ノ際當委員會ニ付託サレマシタ昭和九年法律第四十五號中改正法律案ニ付キマシテハ、曩ニ本會議デ一應ハ御説明致シテ置キマシタガ、此ノ機會ニ大體ノ御説明ヲ致シタイト存ジマス

御承知ノ通り此ノ法律制定當時ニ於キマ

シテハ、諸外國ノ通商政策が從來ノ國際協
調主義ヲ棄テテ、著シク自國本位ノ方針ニ
傾キ、或ハ關稅ノ障壁ヲ高メたり或ハ輸入
ノ禁止又ハ制限ヲ行フ等、通商ノ防遏の措
置ニ出ヅルモノガ次第ニ多クナツテ來マシ
タ、特ニ我が輸出品ニ對スル輸入防遏の措置
ガ益、深刻ノ度ヲ加ヘントスル情勢デアツ
タノデアリマス、ソコデ各國ノ執リ又ハ執
ラントスル措置ニ對應シマシテ、我國ノ貿易
ヲ調節シ又ハ通商ヲ擁護スル爲ニハ、輸入
稅ノ増減デアリマス、又ハ貨物ノ輸出
入ノ禁止若クハ制限ト云フガ如キ、特殊ノ
手段ヲ執ラネバナラヌカト考ヘラレ、而モ是
等ノ手段ハ何レモ機ニ應ジ、急速ニ措置セ
ナケレバナラヌノデアリマスカラ、何時ニ
テモ直チニ此ノ手段ニ訴ヘルコトノ出來ル
ヤウナ制度ヲ、豫メ設ケテ置ク必要ガアツタ
ノデアリマス、是ガ本法制定ノ趣旨デア
ルノデアリマス、其ノ後昭和十年加奈陀ニ對
シ、同十一年濠洲ニ對シソレハ、本法ヲ發
動致シマシタ所ガ、何レモ相手國ノ反省ヲ
促シマシテ、十分ニ其ノ效果ヲ發揮シ得タ
ノデアリマス、然ルニ最近ニ於ケル國際通
商情勢ヲ見マスルニ、本法立法當局ニ比シ
經濟「ブロック」形成ノ思想ハ、何等減退ス
ルコトナキノミナラズ、支那事變ニ對スル
我が眞意ヲ誤解シ、或ハ又歐洲戰亂ニ伴フ
自衛的立場カラシテ、本邦ニ對シ何時如何
ナル措置ヲスルヤモ測ラレザル現狀ニアル
ノデアリマス、隨テ本法ノ必要性ハ今日ニ
於テモ尙ホ一層痛感セララル次第デアリマ
ス、然ルニ本法ハ昭和九年五月一日ヨリ施
行セラレマシテ、其ノ施行期間ハ附則第二
項ノ規定ニ依リマシテ、施行後三年間ヲ限
リ其ノ效力ヲ有スト云フコトニ相成ツテ居

ツタノデアリマスガ、其ノ後昭和十二年ニ
更ニ三年間延長致シマシテ、今日ニ至ツタ
次第デアリマスカラ、本年四月三十日限り
其ノ效力ヲ失フコトニナツテ居ル次第デア
リマス、現下ノ國際通商情勢ガ前ニ述ベマ
シタ通りデアリマスノデ、我國ノ貿易ノ調
節及ビ通商ノ擁護ノ爲ニハ、此ノ際本法ノ
施行期間ヲ更ニ三年間延長シ、以テ我が政
府ノ意ヲ存ズル所ヲ示ス必要ガアルト考ヘ
マシテ、茲ニ本改正案ヲ提出シタ次第デア
リマス、何卒速ニ御協賛アラシコトヲ希望
致シマス

○紫安委員長 申上ゲマス、昭和十五年度
一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案、政府提出、第一號外第六號
マデ一括採決ニ入ルニ先ダチマシテ討論ニ
入リマス——原玉重君

○原委員 只今議題トナリマシタル六案ハ
豫算ニ關聯シ、又ハ時局柄其ノ他重要ナル
案ト考ヘマスカラ、私ハ民政黨ヲ代表シ全
部原案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

○紫安委員長 鶴君
○鶴委員 茲ニ御提案ニナツテ居リマス
昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル
爲公債發行ニ關スル法律案外五件ニ付キマ
シテハ、金額ニ於キマシテモ相當多額ノ公債
ヲ發行サルルコトニナリマスノデ、其ノ運
用ニ誤リノナイヤウニ御注意ヲ願ヒマシテ、
以下五案ニ對シテ政友會吾々委員一同ヲ代
表シマシテ贊成ノ意ヲ表シマス

○紫安委員長 小申君
○小申委員 私ハ今同僚ノ諸君ガ仰セノ通
リ、此ノ案ハ既ニ豫算ノ方ニ於テ本會議議通
過シテ居ルノデアリマシテ、其ノ謂ハバ附
則ノ案デアリマスカラ、無論ニ付キマシ

テ此ノ際此ノ案ヲ彼此レスベキモノデア
リマセヌノデ、原案ニ贊成スルモノデアリ
マスガ、此ノ際一番私共ノ憂フル所ハ、今日
マデ我國ノ國力ハ一般ノ想像以上ニ強靱性
ヲ持ツテ居ル、サウシテ是ダケノ大戰爭ヲ
ヤツテモ、日本銀行兌換券並ニ公債ノ吸收
何レモガ、兌換券モ大ナル膨脹ヲセズ、又
公債モ滑カニ行ハレテ居ルハ、皆サシノ
御存ジノ通りデアリマスガ、唯歐羅巴戰爭
アタリニ於テモ、獨逸及ビ其佛アタリガ第
三年目以上ニナツテ、漸次兌換券ノ増發、
公債ノ増發ニ依ツテ、物トノ比較ガ段々ニ
素レテ來テ、遂ニ惡性「インフレーション」
ニ陥ツタト云フ事實モアルノデアリマスカ
ラ、特ニ政府ニ於キマシテハ其ノ點ヲ御考
慮願ヒマシテ、近來物價ノ統制ニ付テモ前
内閣ノ非常ナ不安定ナ低物價政策ガ大破綻
ヲ來シテ、ソレガ爲ニ闇相場ガ横行シテ居
ルトカ、或ハ又近來非常ニ主張サレテ居ル
所ノ公債ノ吸收力ガ段々鈍ツテ來タ、或ハ
又小額ノ公債ガ郵便局ニ於テ何時デモ直
ニ買戻スト云フニ拘ラズ、市中ニ於テハ額
面ヲ下ツテ取引サレテ居ルヤウナ事實カラ
考ヘマシテ、此ノ際政府當局ニ於テ特ニ非
常ナル御注意ヲナサイマシテ、此ノ運用ヲ
誤ラナイヤウ、現内閣ハ既ニ物價ニ對シテ
モ特ニ大機關ヲ設ケテ之ヲ實行サレルト云
フコトニナツテ居リマス、又兌換券ノ回收
方策ト致シマシテハ割増金付ノ債券其ノ他
色々ノ手段ヲ考ヘラレテ居ルヤウデアリマ
ス、ドウカ當局者ニ於テハ我國ノ容易ナラ
ザル此ノ實情ニ臨ンデ、物トソレヲ基準ス
ル所ノ貨幣トノ差ヲ餘リ大キクシナイヤウ
ニ、サウシテ又同時ニ生産力ノ擴張ニ障碍
トナラヌヤウニ運營アラシコトヲ希望致シ

マシテ、私ハ政友會ノ同志ヲ代表シテ茲ニ
贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

○紫安委員長 小野君
○小野(謙)委員 私ハ時局同志會ヲ代表シマ
シテ只今議題ト相成ツテ居リマスル昭和十
五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債
發行ニ關スル法律案外五件ニ對シテ贊成ノ
意ヲ表シマス、本案ハ曩ニ本院ガ協賛ヲ與
ヘマシタ豫算ノ實施運用ニ直接ノ關係ヲ有
スルモノデアリマシテ、豫算トハ不可分ノ
關係ニアリマスルガ故ニ、色々ト本案ノ實
施ニ對シテ希望ハ持ツテ居リマスガ、私ハ
此ノ際諸君ト共ニ本案ニ贊成ヲ表スル者デ
アリマス

○紫安委員長 只今議題トナリマシタ昭和
十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公
債發行ニ關スル法律案外五件ヲ一括シテ可
決スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○紫安委員長 滿場異議ナク可決セラレマ
シタ、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後一時四十二分散會